

1 両磐保健医療圏内県立病院群の一体的運営に係るあり方と取組み

◇ 磐井病院

両磐圏域の基幹病院として、救急・急性期・周産期医療の充実と、がん・脳血管治療などの高度・特殊医療機能を強化し、併せて緩和ケア医療の充実を図る。また、地域医療支援病院として両磐圏域の医療及び福祉・介護施設との役割分担と連携に取り組む

◇ 磐井病院附属花泉地域診療センター

花泉地域の診療所として、磐井病院等からの支援を得ながら、プライマリケア（初期治療）や慢性期医療を担う。

◇ 千厩病院

東磐井地域の中心的な病院として、磐井病院等と連携しながら、救急・急性期医療、高齢者医療及び透析医療のほか、リハビリテーション機能や地域包括ケア等を活用した在宅復帰支援等の機能を担う。

◇ 大東病院

圏域の地域病院として、磐井病院等と連携しながら回復期を中心とした入院医療を提供し、併せて医療・介護・福祉・行政との連携協働により地域包括ケアシステムの一翼を担う。

◇ 南光病院

県南部広域の精神医療の拠点として、精神科医療（精神科救急含む）を担い、併せて一般医療（磐井病院）との有機的連携及び地域ケア支援機能を強化するほか、両磐圏域における認知症疾患医療センター（地域型）として県の指定を受け、認知症医療を提供する。

2 両警保健医療圏内県立病院群の医療資源等の状況

(1) 診療科及び医師数の状況（令和6年10月1日現在）

（単位：人）

区分	磐井病院	花泉地域診療センター	千厩病院	大東病院	南光病院	計
総合診療科	1	1	1	2		5
精神科					11	11
呼吸器内科	1					1
消化器内科	8		1			9
循環器内科	6					6
小児科	4					4
外科	8		3	1		12
整形外科	6					6
脳神経外科	2					2
形成外科	3					3
皮膚科	1					1
泌尿器科	3		2			5
産婦人科	5					5
眼科	1					1
耳鼻咽喉科	3					3
麻酔科	4					4
救急科	3					3
脳神経内科	1					1
心療内科						0
病理科	1					1
放射線科	3					3
緩和医療科	1					1
歯科口腔外科	2					2
研修医	7		1			8
計	74	1	8	3	11	97

注 診療科に記載している「数字」は常勤医師数であり、「兼」は他診療科医師の兼務である。

(2) 基本的機能等（令和6年10月1日現在）

区分	施設類型	病床数（床）					救急医療			特殊診療機能・器械				
		一般	療養	感染結核	精神	計	救急告示	二次輪番	精神	がん放射線治療	理学	作業	人工透析（台）	MRI（台）
磐井病院	基幹	305		10 (結核)		315	○	○		○	○	○	9	1
花泉地域診療センター	診療所													
千厩病院	地域基幹	(148) 116		4 (感染)		(152) 120	○	○			○	○	20	1
大東病院	地域	40				40				○				
南光病院	精神				(359) 305	(359) 305			○			○		
両警医療圏		461	0	14	305	780	2	2	1	1	3	3	29	2

注 大東病院の一般病床は、26年4月から40床で運用している。

注 千厩病院の一般病床には、地域包括ケア病床23床を含む。（令和2年5月～回復期リハビリテーション病棟廃止）

千厩病院の一般病床は、令和5年10月より32床休床（括弧は許可病床）。

注 南光病院の精神病床は、平成26年3月より50床休床（括弧は許可病床）。

平成30年5月より7床休床。平成30年12月より3床稼働。

3 両磐保健医療圏内の救急患者数状況

(1) 救急患者数の状況(1日平均)

(単位：人)

区分	4年度	5年度	6年度
磐井病院	33	32	30
花泉地域診療センター			
千厩病院	13	12	11
大東病院	月2回夜間救急業務実施	月2回夜間救急業務実施	月2回夜間救急業務実施
南光病院	1	1	1
両磐医療圏	47	45	42

注 6年度は8月末実績であること。

(2) 一関市消防本部救急車搬送状況

区分	4年	5年	6年(9月末速報値)
磐井病院	2,884	3,023	2,384
花泉地域診療センター	0	0	0
千厩病院	1,148	1,138	739
大東病院	38	19	20
南光病院	12	11	8
県病搬送合計	4,082	4,191	3,151
(1日平均)	11.2	11.5	11.5
管内県病以外の医療機関	1,326	1,489	908
管内以外搬送	346	292	264
搬送人員合計	5,754	5,972	4,323
(県病割合%)	70.9	70.2	72.9

注 暦年(1月~12月)の実績であること。